

(21) 教室活動の理念や活動していく上で大切にしていること(自由記述)

- ・子育て中の外国人の女性が、安心して地域で生活できるような環境、居場所づくりをめざしています
- ・安心して日本語を学べる環境作り
- ・就業・結婚等さまざまな理由で来日する外国人のために生涯学習を進めるための基礎として、自己表現や自己実現のための読み書きが不自由することなくできるよう実施している
- ・学習者の個々のニーズに沿った活動ができるように心がけています。感染症対策をしながら、できる限り対面で交流できるように運営しています
- ・学習支援者や共催団体との役割分担の明確化
- ・学習支援者であるボランティアが、自主的・主体的に教室の運営に取り組む環境づくり
- ・外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の学習機会を提供することにより、日本語の会話、読み書きの力をつけ、受講者一人一人の自己実現と文化の相互理解を図る
- ・続けること
- ・夜間卒業生の場合として始まって現在に至る
- ・外国人の皆さんに生活に必要な日本語を学んでもらうことはもちろん、学習者と学習支援者が互いに学びあいながら交流を深めるために集まっているという気持ちを大切に活動しています
- ・1対1の対面学習を基本とする。地域で生活し、共生できるよう学習者に寄り添っていく
- ・交流の場を作る
- ・日本社会で生活する上で不可欠な初級程度の日本語能力を身につけることができる場のほか、日本人ボランティアとの交流を通して、日本文化や生きた日本語会話を学ぶことができる場
- ・1. 学習者が学びがいのある学習を展開する
2. より良い日本語学習支援を目指す
3. チームワーク良く、楽しいボランティア活動を進める
- ・いつ来てもリラックスして参加できる雰囲気を保つことを意識して教室運営をしている
- ・「学習者ファースト」を第一に掲げ、個々の学習者さんのニーズに応える。日本語学習だけでなく、学習者が気楽に集える居場所としての役割も担っていくことが教室の存在意義である
- ・学習者(外国にルーツを持つ子ども)の安心・安全とエンパワメント(自己肯定感と学力保障の両方を満たすこと)
- ・慣れない生活環境の中で抱える悩みを分かち合い、互いに支え合う場を提供
- ・教科学習や日本語の学習支援、進路に関する相談などを学校や教育委員会と連携して実施
- ・いつ来てもリラックスして参加できる雰囲気を保つことを意識して教室運営をしている
- ・学びたい・人と過ごしたい・つながりたい、という方に開かれている場です
- ・学ぶ・あそぶ・食べることを通じて、やわらかく、ゆったりと過ごせる場です
- ・これまで先輩方が繋げてくださった学びの灯を絶やすことなく継続していきたい。誰もが学べる場所として、人権意識を大切に、今、何をなすべきかを考える場所としていきたい。また、様々な仲間の集える居場所づくりとして教室を大切にしていきたい
- ・学習者のニーズに合った活動内容
- ・識字教室・日本語教室という枠にとらわれず「楽しく学ぶ(べる)」を大切にしている
- ・日本語教師から生活に必要な日本語の基礎を学ぶだけでなく、友達をつくったり、いろいろな生活情報を得たり、気軽に相談できる居場所となることを目的としています。年に一度の日本語発表会では、学習者が自分の思いを伝え、地域住民と交流できることをめざしています

- ・「日本語教室での定期的な交流活動を通して地域に暮らす外国人の日本語とそれにまつわる暮らしの課題に関わり、同じ地域に住む市民として相互にそれぞれの文化や生活習慣を尊重し合い、より豊かな多文化共生社会の実現をめざして日本語交流活動に取り組んでいます。」この理念を『日本語交流活動宣言』として協会と日本語支援ボランティアで共同宣言し、協会で活動するすべてのボランティアと共有しています
- ・対面での日常会話を中心に行っている
- ・学習内容について:学習者の初期能力を見定め、学習者の希望する目標を重視し、それに沿った方法で支援する
- ・学習者との個人的な距離の取り方:教室外での学習者との特別な付き合いは必要最低限に
- ・プライバシーを侵害しない:困りごとの相談解決や支援に関しては、支援者が担わないで当該窓口につなげる
- ・学習者と学習支援者(ボランティア)間の信頼感醸成
- ・日本語と日本文化を学び、友達作りの場所を提供し、外国人を孤立させない
- ・近隣の学校に講師を依頼するなど、地域密着型での運営を心掛けています
- ・日本語教室の受講者の方に、教室のみならず、自身の出身国を紹介するイベントや、日本文化を体験してもらえるイベントなどに参加してもらい、外国人市民同士や日本人市民も含めた交流の場を提供するようにしている
- ・識字教室から起こったことを大事にしており、講師と受講生が1対1で行うことを基本としている
- ・学習(書く、聞く、話すなどの日本語能力検定などに向けた学習。日常の会話、漢字やひらがなの学習)だけでなく季節行事や、防災の話、市の話などを積極的に取り入れ、単なる語学学習のみにならないように支援者と連携をとっている。また、日本文化にたくさん触れてもらえるよう、書道や七夕の短冊など交流イベントも増やしていきたい
- ・学習者の意思を尊重している。宗教・思想に立ち入らない。(料理活動時のみ食べてはいけない食品の質問をした)
- ・地域在住の日本語を母語としない人々に、言葉の壁を取り除くための日本語学習支援および心のサポートを行う内なる国際交流団体です。「心をつなぐ、言葉でつなぐ」をスローガンにしています。学習に於いては、学習者のニーズに合わせるようにしています
- ・学習者のニーズに合わせる
- ・元来は中国帰国者(家族)を対象に実施してきた。近年はベトナム、インドネシアからの企業実習生が多く訪ねてくる。来る者拒まず去る者追わずのスタンスで対応している
- ・学習者が楽しんで来られるよう努力している
- ・日常生活に必要な読み書きの力を取得するとともに、自らの生活や文化の向上を図る
- ・支援者と学習者は教える・教えられる関係ではなく、日本語学習の手助けをし、活動を通してお互いの国の文化などを理解し、交流を深めることを大切にしている
- ・学習者の多様なニーズに応えるよう努める。そのための研修や自己研鑽を怠らないよう心がける
- ・日本語学習だけではなく、学習者が困っていないか常に寄り添う姿勢を大切に、学習者にとって教室が大切な居場所だと思ってもらえるよう心がける
- ・日本語がわからなくて困っている外国人に学習の場を提供する
- ・「読む」「書く」「話す」の教授だけでなく、生活相談をはじめとして外国人の人権を守るために活動する
- ・学習者との交流を通して日本社会をふり返し、人権を守る社会をつくることをめざす